

AI 通訳機「POCKETALK® (ポケットーク)」シリーズ 出荷台数 80 万台突破のお知らせ

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、弊社が2017年12月より販売している「ポケットーク」シリーズ(初代「ポケットーク」、「ポケットーク W」、「ポケットーク S」および「POCKETALK S Plus」を含む)の累計出荷台数(サンプル等除く)が、本日5日時点で80万台を超えたことをお知らせいたします。

弊社は、「言葉の壁をなくす」というミッションの実現を目指し、本製品の提供を広げて参ります。



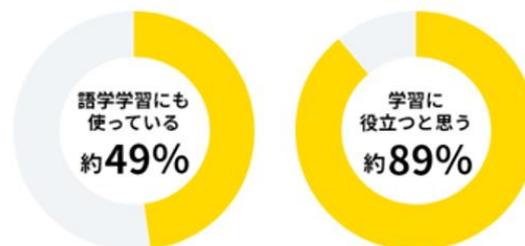
【 ポケットーク・ユーザーのおよそ2人に1人が学習ツールとして活用 】

弊社は、2017年12月の「ポケットーク」初代モデルの発売以来、個人ユーザーのご購入のほか、自治体、企業様など3,000社以上で導入いただいています。

発売当初は、インバウンド・アウトバウンドでの利用が多く、コロナ以前の2019年10月に当社がポケットーク・ユーザーを対象に行なったアンケートでは、旅行用途での利用がおよそ60%、次いで学習用途がおよそ35%という結果になりました。

今年7月に、ポケットーク・ユーザーを対象に同様に行なったアンケート調査では、旅行用途での利用者はおよそ55%、次いで、およそ半数の方が学習用途として利用していることがわかりました。コロナ禍で入出国の制限で海外旅行ニーズはやや減退しましたが、コロナ禍で「おうち時間」が増加したことなどを背景に、学習ツールとしてのニーズが高まっています。

約2人に1人がポケットークを学習に利用、
うち約9割の方に役立つと評価いただいています



2020年7月「ポケットーク・ユーザーアンケート」(ソースネクスト調べ)
「ポケットークW」、「ポケットークS」利用者
語学学習に使っている: n=1,846 / 学習に役立つと思う: n=1,044

また、コロナ禍で法人企業でのインバウンド需要は一時的に減退していますが、日本国内に居住、職業に就く在留外国人の方とのコミュニケーションツールとして、市役所、幼稚園、工場等での導入が進んでいます。

弊社では、今後も多くの自治体、企業様を通じて、本製品の提供を広げて参ります。

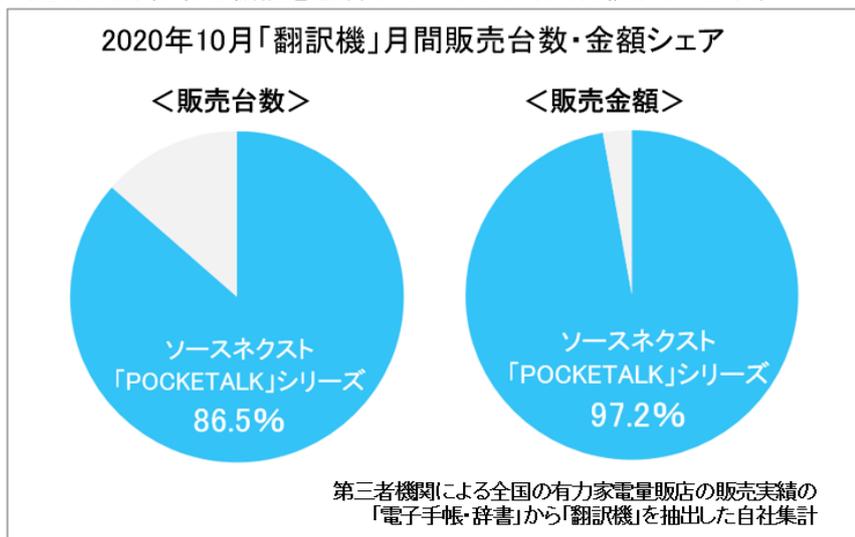
【「ポケットーク」とは】

ソースネクストの「POCKETALK(ポケットーク)」は、互いの言葉を話せない人同士が自国語のまま対話できるAI通訳機です。55言語を音声・テキストに翻訳し、20言語をテキストのみに翻訳できます。クラウド上の最新最適なエンジンとAIを使った翻訳精度の高さが特長で、長い文章も訳せます。Wi-Fiのない所でも世界137の国と地域で、そのまま使えるモバイル通信機能を内蔵し「契約不要、通信料なし(2年間)」で、買ってすぐ使えます。

「ポケットークS」は名刺サイズでカメラ翻訳機能搭載。撮影した文字を55言語で自動認識して翻訳したり、AIを相手に英語、中国語の旅行中心の36の会話レッスンができたりと、多彩な機能を名刺サイズのボディに満載しています。



「POCKETALK(ポケットーク) S」



・製品プレスリリース

「ポケットーク W」: https://sourcnext.co.jp/pressrelease_html/JS/2018/2018072601

「ポケットーク S」: https://sourcnext.co.jp/pressrelease_html/JS/2019/2019110703

・詳細URL: <https://pocketalk.jp/>

コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

© SOURCENEXT CORPORATION

お客様お問い合わせ先

■ソースネクスト・カスタマーセンター

■ご購入前相談ダイヤル : 0570-035-333 (IP 電話からは 082-553-1081)